

二絨毛膜二羊膜双胎の胎児発育曲線に関する検討

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年 10月 11日 ～ 2025年 3月 31日

〔研究課題〕 二絨毛膜二羊膜双胎の胎児発育曲線に関する検討

〔研究目的〕

胎児発育曲線は、児発育の把握に必須な検査の一つです。双胎は単胎に比して低体重で出生することがわかっていますが、時に胎児発育不良と誤認する可能性があります。その為、二絨毛膜二羊膜双胎の胎児発育曲線を把握し、不要な妊娠継続の終了を減らすことで、本邦の周産期予後のさらなる改善に寄与することを目的とします。

〔研究意義〕

当院における妊婦検診にて計測した胎児推定体重を診療録より検討し、週数毎の平均値を算出し胎児発育曲線を作成し、双胎の真の成長曲線を明らかにすることで、新なり周産期予後改善が期待できます。

〔対象・研究方法〕

当院にて2017年から2022年10月までに出生した二絨毛膜二羊膜双胎18例とします。妊婦検診にて計測した胎児推定体重を診療録より後方視的に抽出し、週数毎の平均値を算出し胎児発育曲線を作成します。当院では診療困難にて胎児奇形の症例は含まれず、また胎児計測は日本超音波医学会用語標準化委員会案に準拠して行います。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、受診された方のお名前、住所など受診された方を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も受診された方の特定できる個人情報は利用しません。受診された方ご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会に提出し、帝京大学臨床研究センター(TARC)で10年間保管後廃棄します。

対象となる受診された方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：馬場 聡 職名 助教
所属：帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科
住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL：0436-62-1211 (代表) [内線 5108]